

東京湾海況情報 22-04

東京湾水質調査結果（平成22年7月分）

平成22年7月15日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査（内湾：7/6 わかふさ、内房：7/7 ふさみ丸）
神奈川県水産技術センター、東京都環境局
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は全域で平年より1～3℃高く、内湾は25～28℃台、内房は23～25℃台でした。
表層塩分は、河川からの出水の影響を受けて内房北部まで30以下と低い状態でした。
内湾では、水温、塩分、密度のいずれも表層と底層の差が大きくなっており、水塊の成層化状態が継続しそうです。

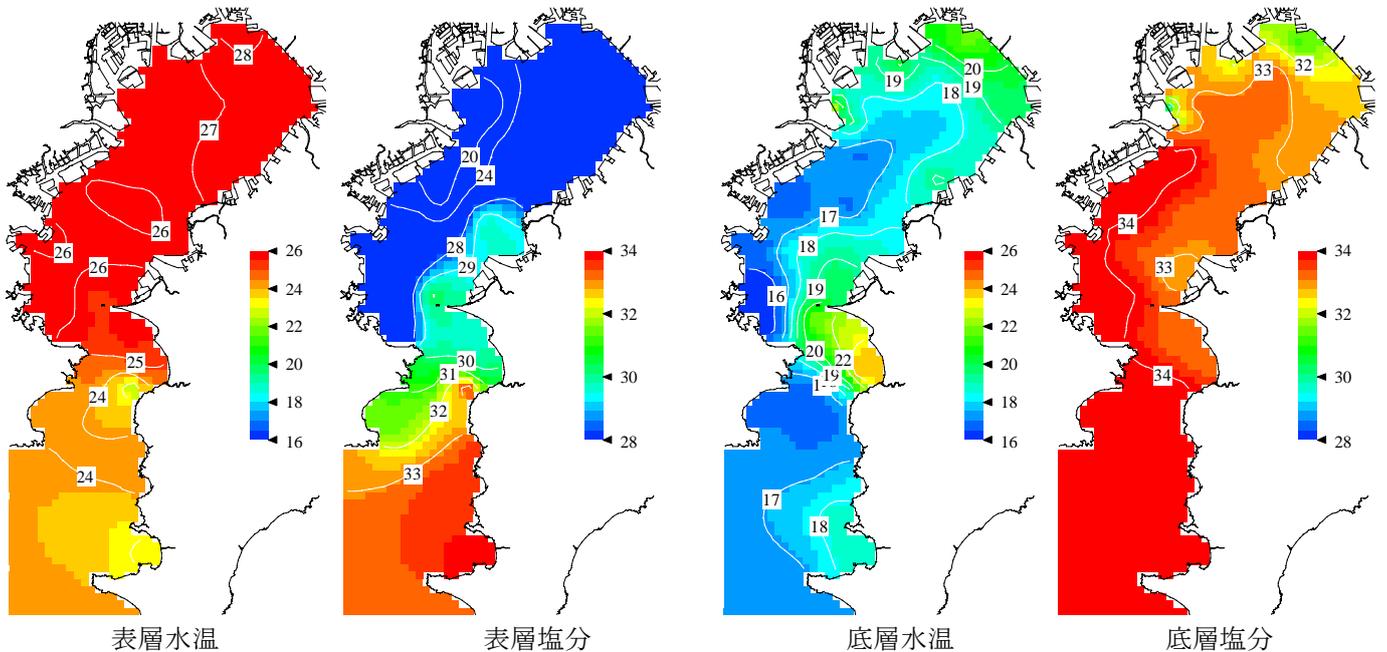


図1 水温と塩分の水平分布

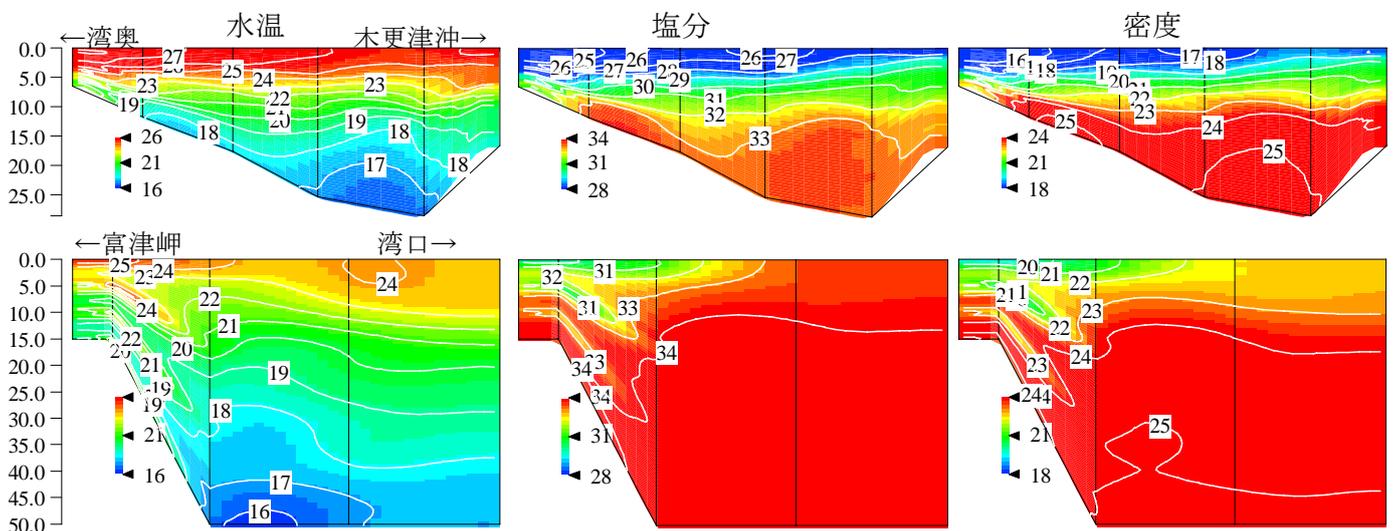


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

内湾から内房北部海域まで赤潮となっており、内湾中央～北部では pH8.7以上、透明度1.5m以下を示し、水色が茶褐色を呈するほど濃い赤潮状態でした。

優占種は場所によって異なり、内湾は珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)が最優占で、次いで渦鞭毛藻のプロロセントラム(*Prorocentrum minimum*, *P. micans*)、珪藻のキリンドロテカ(*Cylindrotheca colsterium*)でした。内房海域では北部が渦鞭毛藻のセラチウム(*Ceratium fusus*)とキリンドロテカ(*Cylindrotheca colsterium*)で、保田から富浦にかけての周辺海域は、珪藻のリゾソレニア(*Rhizosolenia spp.*)でした。

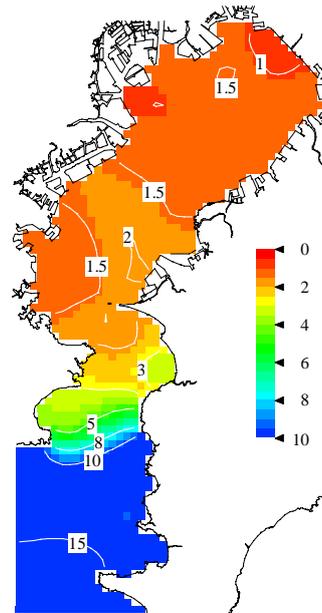


図3 透明度の分布 (m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、内湾北部沖合を中心に広範囲に分布していました。鉛直分布からも規模拡大が伺われることから今後の動向には注意が必要です。

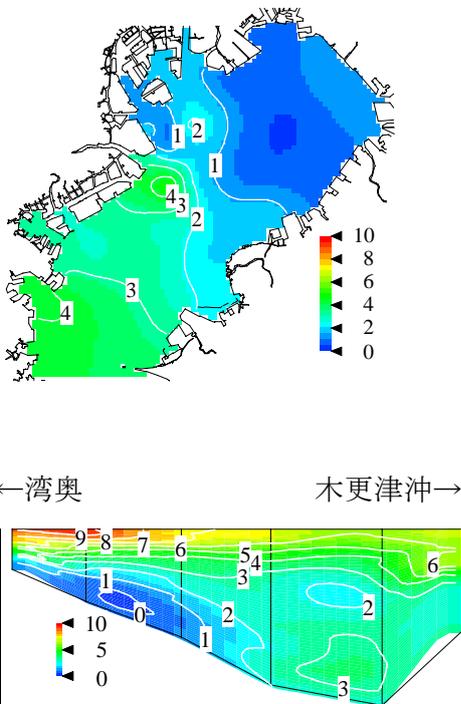


図4 内湾のDO (ml/L)

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

栄養塩類の状況(図5、表1)

栄養塩は東京港周辺で高い値を示していましたが、全般的にはDIN、PO4-Pとも平年より少なめでした。

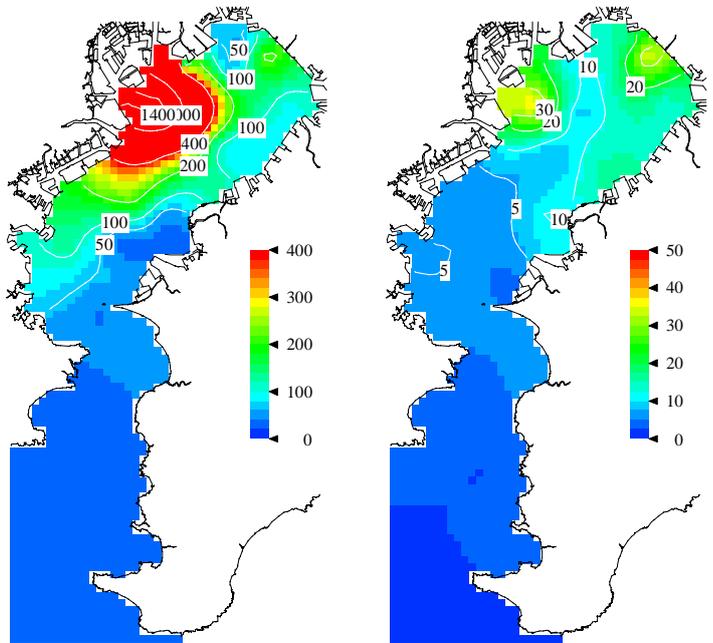


図5 表層の栄養塩類

(左:DIN, 右:PO4-P 単位はいずれも $\mu\text{g/L}$)

黒潮の状況(図6)

黒潮はN型流路で、房総半島に近づいており沿岸域で流れが速くなっています。急潮に注意が必要です。

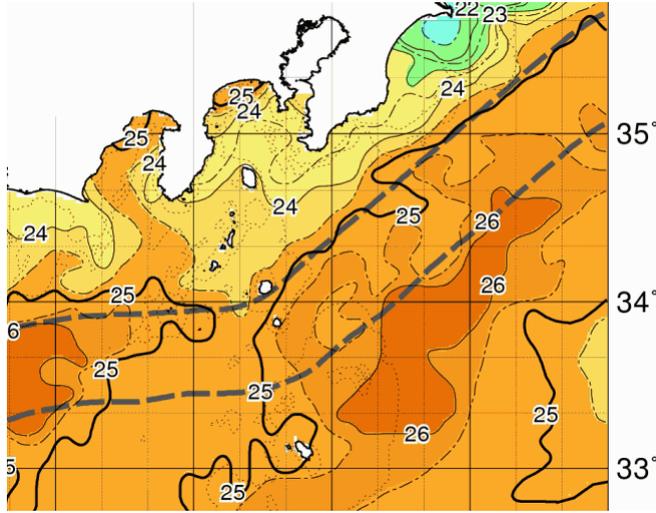
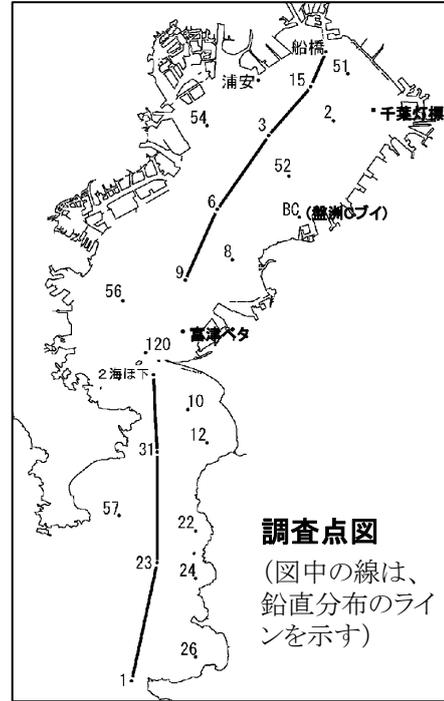


図6 黒潮の動き(7月6日)



調査点図

(図中の線は、鉛直分布のラインを示す)

表1 主な調査点の水質調査結果(調査点は、右図参照)

(調査日 : 平成22年7月6日、7日)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (μg/L)	リン酸 態リン (μg/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	クロロフィルa量 (μg/L)	
内湾海域	船橋	0.9 (1.2)	28.2 (25.6)	24.34 (26.87)	8.8 (8.7)	0.6 (3.4)	65 (138)	16 (18)	55 (55)	68.3
	st. 15	1.4 (1.2)	27.6 (25.5)	24.54 (26.75)	8.9 (8.8)	0.1 (1.3)	61 (140)	12 (14)	57 (32)	53.8
	st. 3	1.4 (1.5)	26.4 (24.8)	26.61 (27.29)	8.7 (8.8)	0.7 (0.5)	202 (207)	16 (18)	94 (30)	51.3
	st. 6	1.3 (1.6)	26.1 (24.6)	25.19 (27.08)	8.7 (8.7)	2.0 (1.3)	499 (286)	7 (22)	55 (72)	42.7
	st. 9	2.0 (2.2)	26.4 (23.6)	27.44 (30.19)	8.6 (8.6)	3.0 (2.6)	25 (75)	4 (6)	22 (23)	21.9
	盤洲Cブイ	1.4 (1.9)	27.8 (24.4)	24.92 (29.73)	8.7 (8.6)	1.5 (2.7)	112 (64)	14 (9)	81 (36)	31.5
	st. 8 (盤洲Aブイ)	1.5 (2.0)	26.1 (23.7)	29.00 (30.59)	8.6 (8.6)	1.7 (2.3)	35 (50)	10 (7)	30 (23)	27.1
	富津ベタ	2.0 (2.4)	25.7 (23.1)	29.31 (30.83)	8.6 (8.5)	3.1 (3.1)	42 (63)	2 (9)	32 (27)	16.9
内房海域	第2海ほ下	2.0 (4.3)	25.4 (22.6)	29.73 (31.17)	8.6 (8.4)		21 (58)	3 (6)	19 (22)	14.8
	st. 31	2.5 (4.6)	24.4 (22.1)	30.80 (31.81)	8.5 (8.4)		20 (42)	2 (5)	17 (19)	15.8
	st. 23	12.0 (6.6)	24.0 (22.1)	33.41 (32.95)	8.3 (8.1)		7 (31)	0 (2)	6 (16)	0.5
	st. 1	16.0 (12.1)	23.7 (22.3)	33.47 (33.82)	8.3 (8.2)		8 (21)	0 (3)	6 (15)	0.5
	st. 10 (下洲沖)	2.0 (4.3)	25.5 (22.1)	29.46 (31.67)	8.6 (8.3)		29 (54)	3 (5)	24 (21)	
	st. 12 (湊沖)	3.5 (3.9)	24.6 (22.2)	30.39 (31.68)	8.6 (8.4)		22 (41)	3 (4)	19 (18)	
	st. 22 (保田沖)	11.5 (5.3)	24.2 (22.3)	33.45 (32.98)	8.3 (8.3)		11 (21)	1 (2)	10 (14)	
	st. 24 (富山沖)	11.0 (8.3)	24.1 (22.6)	33.40 (33.52)	8.3 (8.3)		12 (18)	1 (1)	10 (15)	
	st. 26 (館山湾内)	11.5 (9.7)	22.9 (22.5)	33.95 (33.74)	8.3 (8.2)		8 (23)	1 (1)	5 (17)	

(): 過去10年間の平均値

※透明度, pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮, DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。